

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	21世紀の森
指定管理者	株式会社足柄グリーンサービス
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	森林再生課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

C

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

< 1 管理運営等の状況 > 当該施設の魅力向上のため、提案どおり維持管理業務の運営を行なっている。自主事業については、年間20回以上実施するほか、地域の団体との連携を図ったイベントを開催するなど、意欲的に取組んでいる。2月の大雪で、野外の林道・散策路の除雪・倒木等が発生したが、利用者への安全確保を取るなど適正に運営しているが、近年利用実績が減少していることから、更なる利用者増につながる取組みに期待し、B評価とした。

< 2 収支状況 > 事業計画に沿った運営を行なっており、概ね良好に執行されているため、B評価とした。

< 3 利用状況 > 10月に年1回の県産材まつりを開催したが、天候に恵まれず思うような集客が見込めなかったほか、2月の大雪で、林道等の除雪、倒木処理を行なった関係で一時的に利用できない期間が生じたため、去年同期と比べマイナス19.5%、目標と比べ21.9%マイナスとなった。野外施設のため、天候に左右されることは致し方ないが、利用者数の減少傾向に歯止めがかからなかったことから、D評価とした。

< 4 利用者の満足度 > 上位2段階の割合が90%であり、下位2段階の割合が無かったため、A評価とした。適切な接客及び施設利用等のサービスが実施されていることが認められる。

< 5 苦情・要望等 > 苦情・要望もなく、適切な接客対応に努めていると認められるためB評価とした。

< 6 事故・不祥事等 > 事故・不祥事の発生もなく、適切な安全管理が行なわれたと認められるためB評価とした。

< 今後の方針等 > 107haの広さの野外施設であるが、日々の安全点検を怠らず、引き続き経費削減に努めてもらいたい。今後は、利用者数の減少に歯止めをかけ、魅力あるイベントを立案し、積極的なPR活動に取組んでもらいたい。

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 広い面積と様々な自然環境を有しているため、維持管理業務は、季節の移り変わりや利用者の状況を勘案し、年間計画を立案する。	実績又は今後の見込みを記載 散策路等の安全パトロールを随時実施し、通行の安全確保に努めた。 建物周辺の落ち葉清掃、散策路周辺の草刈整備を行うとともに、利用者の安全確保のため季節に応じ、キイロスズメバチの巣の撤去、路面凍結注意の看板を設置した。

	提案内容	実施状況等																																					
2 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 台風や降雪など異常気象による突発的被害には、適時対応、修復作業を実施していく。	実績又は今後の見込みを記載 2月の大雪により50cm以上の積雪となった。一時、林道・散策路及び建物周辺への立ち入りが困難となったが、関係機関との調整を行い、除雪および倒木処理を行った。 これにより、3月8日の600名の参加者を予定していたイベントまでに除雪処理を完了させ、大雪による怪我等も無く、安全管理に努めた。																																					
3 (自主事業)	提案内容の要旨を記載 当該施設は、公共交通機関を利用した来場が困難なため、休日を中心とした自主事業等のイベントを行う日は、マイクロバスの運行を実施する。	実績又は今後の見込みを記載 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>送迎回数</th> <th>乗車人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>2回</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>1回</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>1回</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>1回</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5回</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>		送迎回数	乗車人数	10月	2回	4人	1月	1回	2人	2月	1回	13人	3月	1回	2人	合計	5回	21人																			
	送迎回数	乗車人数																																					
10月	2回	4人																																					
1月	1回	2人																																					
2月	1回	13人																																					
3月	1回	2人																																					
合計	5回	21人																																					
4 (自主事業)	提案内容の要旨を記載 自然環境学習、自然体験学習、自然工作学習、冒険体験学習の4つのジャンルに整理し、年間を通じて20回以上の定期的な自主事業を実施する。	実績又は今後の見込みを記載 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>活動内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">10月</td> <td>木工体験 (ヒノキのマイはしづくり)</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td>木工体験 (かながわ県産材まつり)</td> <td>170名</td> </tr> <tr> <td>自然観察 (キノコって何)</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11月</td> <td>木工体験 (ヒノキのマイはしづくり)</td> <td>53名</td> </tr> <tr> <td>自然観察 (落ち葉のプール遊び)</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">12月</td> <td>自然工作 (杉玉作り)</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>冒険体験 (竹林整備)</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>木工体験 (オリジナルチェア)</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1月</td> <td>冒険体験 (低木の除伐)</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>木工体験 (ダイニングテーブル)</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2月</td> <td>木工体験 (ワークデスク)</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>自然観察 (冬の野鳥観察)</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>冒険体験 (ヒノキの間伐)</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>426名</td> </tr> </tbody> </table>	月	活動内容	参加者数	10月	木工体験 (ヒノキのマイはしづくり)	52名	木工体験 (かながわ県産材まつり)	170名	自然観察 (キノコって何)	25名	11月	木工体験 (ヒノキのマイはしづくり)	53名	自然観察 (落ち葉のプール遊び)	33名	12月	自然工作 (杉玉作り)	20名	冒険体験 (竹林整備)	6名	木工体験 (オリジナルチェア)	7名	1月	冒険体験 (低木の除伐)	5名	木工体験 (ダイニングテーブル)	8名	2月	木工体験 (ワークデスク)	8名	自然観察 (冬の野鳥観察)	29名	冒険体験 (ヒノキの間伐)	10名	合計		426名
月	活動内容	参加者数																																					
10月	木工体験 (ヒノキのマイはしづくり)	52名																																					
	木工体験 (かながわ県産材まつり)	170名																																					
	自然観察 (キノコって何)	25名																																					
11月	木工体験 (ヒノキのマイはしづくり)	53名																																					
	自然観察 (落ち葉のプール遊び)	33名																																					
12月	自然工作 (杉玉作り)	20名																																					
	冒険体験 (竹林整備)	6名																																					
	木工体験 (オリジナルチェア)	7名																																					
1月	冒険体験 (低木の除伐)	5名																																					
	木工体験 (ダイニングテーブル)	8名																																					
2月	木工体験 (ワークデスク)	8名																																					
	自然観察 (冬の野鳥観察)	29名																																					
	冒険体験 (ヒノキの間伐)	10名																																					
合計		426名																																					
5 (自主事業)	提案内容の要旨を記載 年1回、地域ぐるみのお祭りとして、県産材を使った木工体験を通し、神奈川の森林・林業についての啓発事業を実施する。	実績又は今後の見込みを記載 開催時期を夏から秋に日程変更し、県、小田原林青会、インストラクターの会等の新規団体にも呼びかけ、企画内容を大幅に拡充したイベントとなった。当日は、県産木材のPRを目的としたt v kの撮影も実施され、21世紀の森の施設と県産木材のPRが行なえた。																																					

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	11月12日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月13日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月16日	○	○	○	無	
1月	2月10日	2月13日	○	—	○	無	
2月	3月10日	3月12日	○	—	○	無	
3月	4月10日	4月15日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		29,930			29,930	29,930		0
年度計画	前年度	28,434	0	0	28,434	28,470	0	▲ 36
	上半期	13,748			13,748	13,784		▲ 36
	下半期	14,686			14,686	14,686		0
	今年度	28,470	0	0	28,470	28,470	0	0
	上半期	14,336			14,336	14,336		0
	下半期	14,134			14,134	14,134		0
通年実績	上半期合計	14,336			14,336	13,582		754
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② ▲ 5.3%	③	5.3%
	10月	1,744			1,744	2,563		▲ 819
	11月	1,720			1,720	3,092		▲ 1,372
	12月	4,637			4,637	2,627		2,010
	1月	1,866			1,866	1,835		31
	2月	2,023			2,023	1,774		249
	3月	2,144			2,144	2,997		▲ 853
	下半期合計	14,134	0	0	14,134	14,888	0	▲ 754
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② 5.3%	③	▲ 5.3%
通年合計	28,470	0	0	28,470	28,470	0	0	
対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② 0.0%	③		
参考	前年度 下半期実績合計	14,686			14,686	14,129		557
	対前年度 下半期実績比				▲ 3.8%	5.4%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（収支計画支出額対比）	×	○	×	散策路等の倒木処理は、台風の影響状況等により実施するため、計画とずれる傾向にある。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 5万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	342	ポンプ交換工事(286,177円)、工芸センター蛍光灯安定器交換(55,650円)
下半期	4,947	ふれあいC外部建具改修(1,069,950円)、森林館身障者トイレ壁張替(598,500円)、浄化槽モーター交換(499,800円)、受水槽交換(2,226,000円)、駐車場トイレ雨漏工事(80,193円)、森林館畳交換(58,170円)、工芸センター分電盤交換(414,750円)
合計	5,289	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 D

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	3,941 人	4,066 人	96.9 %
11月	2,720 人	3,266 人	83.3 %
12月	1,132 人	1,923 人	58.9 %
1月	920 人	1,262 人	72.9 %
2月	832 人	1,760 人	47.3 %
3月	2,019 人	2,099 人	96.2 %
合計	11,564 人	14,376 人	80.4 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	11,564 人	14,376 人	14,808 人	① 78.1 %	② 80.5 %
上半期計	28,325 人	27,846 人	28,681 人	① 98.8 %	② 101.8 %
合計	39,889 人	42,222 人	43,489 人	① ▲ 8.3 %	② ▲ 5.6 %

※目標値の設定の有無

	設定している	
期間	通年	その他の場合の期間
基準	前年度数値	その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	○	野外施設であるため、2月の大雪の影響で、園内の林道・散策路に50cm以上降雪した。除雪及び倒木処理に時間を要し、利用できない時期が生じた。今後は、除雪等の発注をスムーズに行なえるよう県と調整しながら進める。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	○	野外施設であるため、2月の大雪の影響で、園内の林道・散策路に50cm以上降雪した。除雪及び倒木処理に時間を要し、利用できない時期が生じた。今後は、除雪等の発注をスムーズに行なえるよう県と調整しながら進める。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	森林館	木材工芸センター					合計
定員(1日あたりの延べ人数)	70	25					95
年間利用可能日数	326	326					
最大人数	22,820	8,150	0	0	0	0	30,970
半期	11,410	4,075	0	0	0	0	15,485

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

6 事故・不祥事等

評価

B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		